

六万三千市民の

昭和五十六年度

施政方針

英知と努力と協力で

三月市議会定例会が三月十一日から開かれ、開会の冒頭、斎藤市長は、当面する市政の諸問題についての施政方針説明を行いました。この中で市長は、これからの基本的なまちづくりの方向として、
「十萬都市建設をめざしたまちづくり」

「住みよい魅力あるまちづくり」
「など五つの柱を表明しました。以下、施政方針を掲載しますが、昭和五十六年度予算やほかの議案などの内容は、次号以下の「広報にいつ」でお知らせする予定です。

本日(こ)に、昭和五十六年市議会三月定例会が開会されるにあたり、新年度におきます私の施政の方針と所信の一端を申し述べ、議員各位をはじめ市民のみなさんのご理解とご協力をお願い申し上げます。次第であります。

私は、去る二月一日行われました

「存知のように一九八〇年代は、歴史的意義をもつといわれる「地方の時代」といわれております。

地方自治の政治の基本

これはまた「市町村の時代」あるいは「地方自治の時代」といわれております。非常に耳ざわりがよく、何か新しい時代の到来を象徴しているかのような語感が致します。この言葉がでてきた背景には、こ

れまで一切の動きが中央指向であり、画一的行政や開発依存型の地域政策、あるいは高度成長経済政策に伴って発生したさまざまな社会問題に対する反省として、「物より心」集権から分権へ「画」より多様性を求める、いわゆる価値観の変化による現れといわれております。また反面、果たして実りがある「地方の時代」を築くことができるかどうか懸念する多くの批判もあるようであります。

古くから常に新しいものと受けとめております。それは、すべて政治の原点には地方の発展、地域住民の幸せ、あるいは地方政治の安定なくしては一国の政治の安定も、国民経済の発展もまたありえないと考えるからであります。つまり、地方自治というものが国全体の政治の基本であると思っております。「地方自治は民主主義の学校である」という有名な言葉がそれを端的に教えております。この私たちのまち「新津」を愛し、未来に向かって創造していくものは、他の誰でもありません。六万三千市民の英知と努力と協力によって、新津市を建設していく以外にはないものであります。これが即ち自治というものであり、このことを抜きにしては「地方の時代」も地域経済の発展も住みよい生活環境もつくことはできません。

ん。私は、このごく当たり前のことを市民のみなさんとともに改めて深く認識したいと考えるのであります。

十萬都市建設など五つの柱

そこで私は、これからの基本的なまちづくりの方向として、次の五つのことを考えております。

まず第一は、十萬都市建設をめざしたまちづくりであります。

第二には、住みよい魅力あるまちづくりであります。

第三は、産業と民生の調和のとれたまちづくりであります。

第四には、社会的弱者といわれるお年寄りや心身にハンディのある人達が大切にされる市民連帯のまちづくりであります。

第五は、市民自治つまり市民の話し合いと参加に基づくまちづくりであります。

これらのことは、今日の問題であるとともに将来に向かっての課題でもあると思っております。私は、一歩一歩着実にこの方向でまちづくりを進めていくつもりであります。その行政指針として、具体的施策の展開については追って「新津市新総合開発基本構想」とそれに基づく基本計画をお示しすることと致します。

自治体は一個の経営体であります。が、住みよい魅力ある地域社会とするためには、行政のみではどうして不可能であります。まして市町村においては、権限的にも財政的にも多くの制約や困難性があります。私、市長がオール・マイティでもありません。市役所はまちづくりの事務局であり、いわば市長はその原案をつくる事務局長ともいえるのであります。

まちづくりに百四十九億円

いま新津市においては、かつてないような都市環境をめぐるいくつかの大きな課題を抱えております。一つは道路交通体系の確立による交通渋滞の解消、二つ目には上越新幹線開通に伴う対応、三つ目には大規模な住宅地帯による商業環境の変化への対応、さらには農業振興や雇用機会の創出など、いづれも一朝一夕には成し得ないむずかしい問題ではあります。私は勇気をもってこれに対処していく決意であります。議員各位のご理解とご協力をお願いするものであります。

な。昭和五十六年度予算案は、ただいままでに申し上げた基本的観点を前提としながら、かつ国の予算動向、地方財政対策を考慮しながら、次の点に意を用いてあります。

自主財源の確保が課題

お買物、ご用命は市内で

幹事さん 春の宴はおまかせ下さい。《総合結婚式場 春祥殿》

心のこもったおもてなし
歓送迎会、謝恩会に...

花見弁当、ご予約承っております

春雨

本町1(駅前) ☎(2)-1600(代)
食堂部 日替定食始めました

お買物、ご用命は市内で

安田火災海上サービスセンター

あなたの安心を 有限会社 樋口保険企画

新津市金沢町3丁目7番20号 電話 02502 (2) 6774番

？損保豆知識？

交通事故でも健康保険を利用できます。社会保険から自賠責へ求償されるので、必ず第三者加害行為の届けをして下さい。

昼・夜間部……入学随時

洋裁 生徒募集

あなたのセンスで手作りファッションを楽しんでみませんか。

ドレスメーカー女学院認可校

新津ドレスメーカー

善道町2丁目 TEL (2)3066